

みちのく森の楽校だより



2017年

6月号

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

2017年6月24日発行



ホタルブクロ

6月24日(土) 晴れ 水辺の生き物観察会! 丸太切と木工!

梅雨の時期ですが、あまり雨が降りませんね～ そんな中でも、ビッキの水辺やリュウキンカの谷など、里山地区の水辺はカエルの大合唱です。水辺の生き物観察会で、たくさんの生き物を見つけましたよ! 午後は、いろいろな太さの丸太を手ノコで切って、それを使った工作もしました。

水辺の生き物観察会

昨日のうちに、リュウキンカの谷に向かう湿地のガマを少しだけ刈り取って、ペットボトルを使ったトラップを仕掛けておきました。

それをそ〜っと上げてみました。何が入っているかな～? ケースに入れて観察しました。

持ってきたタモ網を水に入れて、泥と一緒にすくってみました。泥の中で、もそもそ動いているのは何かな～?

- ドジョウ
- オタマジャクシ
- カエル
- ミズカミキリ
- ヤゴ
- ゲンゴロウ



里山の初夏の味覚、フキを食べる！

フキは、一つの株から花と葉柄が別々に育つ、少し変わった植物。通常、食べる「フキ」は、葉柄の部分です。長く伸びているので茎のように見えますが、実際は葉の一部にあたり、円形に広がる葉と地下茎を結ぶ通路の役割があるんだそうです。ちなみに、早春に楽しんだ「フキノトウ」は花のつぼみです。

今日は、里山のフキを収穫して、フキご飯とフキの煮物にしました。フキご飯はもちろん、薪を使った飯盒炊飯です。

キュウリとナスは小野分校脇の畑で収穫したものの。少しずつ、畑も充実してきました！

キュウリとキャベツの
即席漬け

フキご飯

玉ねぎの酢付け

フキの煮物

味噌汁



キュウリ収穫



フキの皮を剥く



フキを切る



飯盒炊飯

丸太切

丸太をノコギリで切る。直径10cm程度の丸太は子供も割りと切りやすい。30cm程度となると大人でも大変。

コツは、しっかりと「馬」に置いて固定すること。日本のノコギリは引いて切るの、引くときに力を入れること。

ちなみに、ヨーロッパなどのノコギリは押して切るとい違いがあります。



丸太の工作

切った丸太を使って、工作をしました。電動やすりで表面や端部をきれいにして、色を塗ったり、絵をかいたり。

中心に心棒を通せば、コマになります。いくつかを組み合わせればブックエンドに。工夫したいです。

